

義歯床補修用レジン
219AFBZX00118000

ティッシュコンディショナーが
光重合で
リベースに変身! PAT.P

Washi

FDR
Functional Denture Rebase



エフディアール

始めはティッシュコンディショナー並の軟らかさで、数日間口腔内にセットし機能印象が採得された時点で、そのまま光重合させて硬質リベース面に変えることのできる次世代の直接法用リベース材です。

特 長

1. 数日後の機能印象面が光照射で硬質のリベース面に変化します。なお万一、光照射が不十分な場合でもFDrリベース面は口腔内で徐々に硬化が進みます。
2. 無刺激、無発熱。
3. 塗るだけでリベース面が滑沢になる“トップコート”つき。
4. エアーバリアー不要。

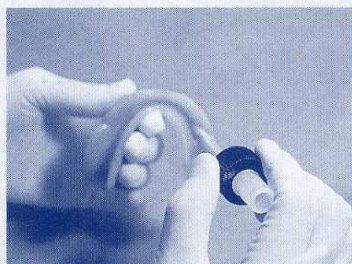
用 途

機能印象法による直接リベース
特に遊離端局部義歯や難症例総義歯に最適

色 調

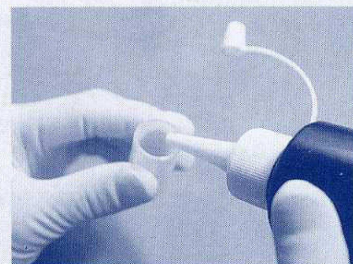
- ピンク

■ 使用法



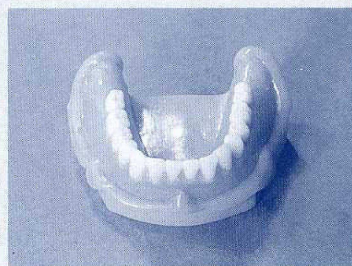
1 床の削除と接着剤塗布

咬合調整のあと床新生面をだし、付属の接着剤“トップコート”を塗布します。



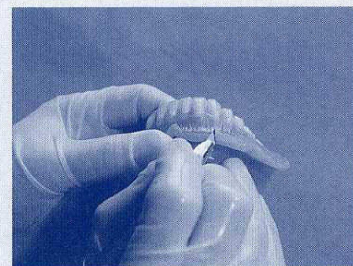
2 計量と混和

標準粉液比は粉計量カップ3目盛に対して液2mlです。
15~20秒間練和します。



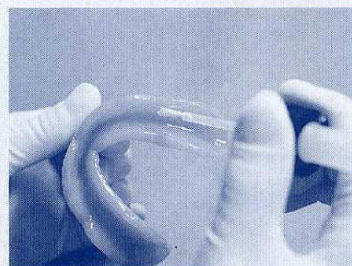
3 盛り上げと挿入

床へ盛り上げ口腔内に挿入します。口腔内保持時間は約8分です。



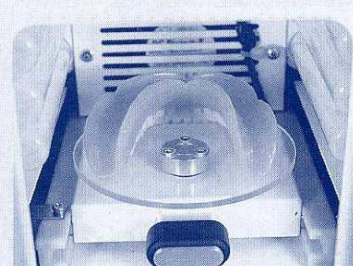
4 余剰部分の除去

余剰部分はアザインナイフかハサミでカットします。次に、低速回転バーで形態修正をしてください。



5 表面滑沢剤の塗布

必ずトップコートをリベース面全面に塗布してください。面荒れ防止と後日の光重合用エアーバリアーの役割をします。



6 光重合

数日間経て、機能印象が採得された時点で取り出し、市販の可視光線照射器にて約10分間程度照射して硬化させます。

ご注意：極めてまれにトップコートによるレジナルアレルギーがみられる場合がありますので、塗布後は十分に乾燥・水洗した上で装着するようにしてください。